

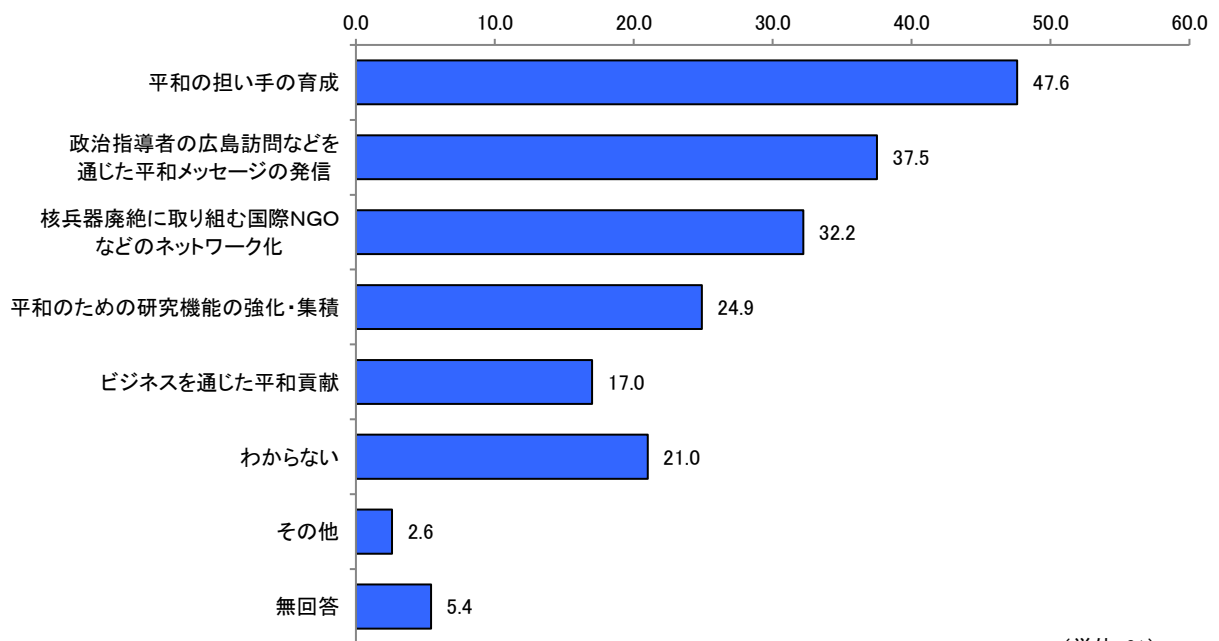
18. 国際平和に向けた取組について

(1) 国際平和の拠点性を高めるために力を入れていくべきこと

問45 広島県の国際平和の拠点性を高めるためには、どのような事に力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

「平和の担い手の育成」「平和メッセージの発信」 が上位

国際平和の拠点性を高めるために力を入れていくべきことについて、「平和の担い手の育成」と回答した割合が47.6%と最も高く、次いで「政治指導者の広島訪問などを通じた平和メッセージの発信」(37.5%)、「核兵器廃絶に取り組む国際NGOなどのネットワーク化」(32.2%)となっている。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

広島地方生活圏は「平和の担い手の育成」(49.5%)、「政治指導者の広島訪問などを通じた平和メッセージの発信」(38.8%)、「ビジネスを通じた平和貢献」(18.5%)が他の生活圏と比べて高く、備北地方生活圏は「核兵器廃絶に取り組む国際NGOなどのネットワーク化」(35.9%)、「平和のための研究機能の強化・集積」(26.3%)が他の生活圏と比べて高い。

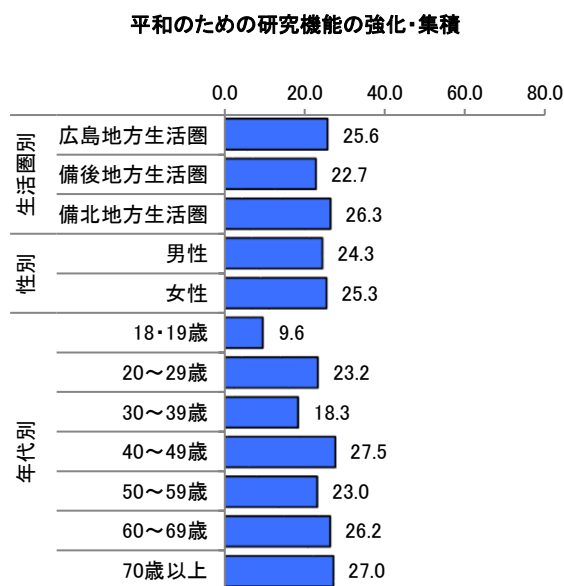
【性別】

男性は「ビジネスを通じた平和貢献」(18.3%)が女性(15.9%)と比べて 2.4 ポイント高い。女性は「平和の担い手の育成」(51.3%)が男性(43.4%)と比べて 7.9 ポイント、「核兵器廃絶に取り組む国際NGOなどのネットワーク化」(35.4%)が男性(28.5%)と比べて 6.9 ポイント高い。

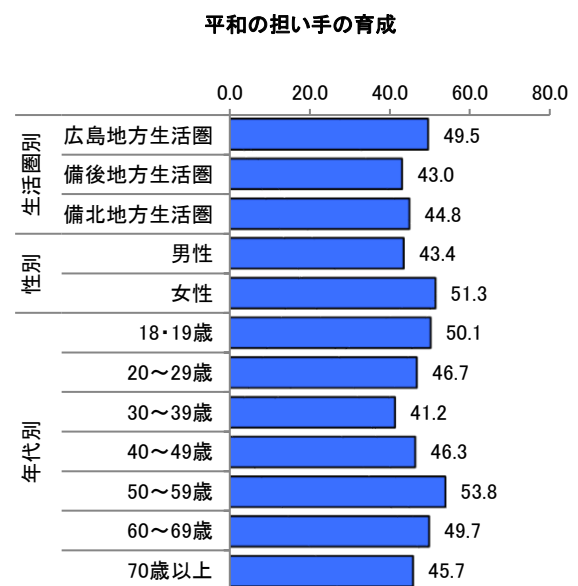
【年代別】

「平和の担い手の育成」は 18・19 歳(50.1%)と 50 歳代(53.8%)で5割を超えて他の年代と比べて高く、「政治指導者の広島訪問などを通じた平和メッセージの発信」は 50～60 歳代で4割を超えて他の年代と比べて高い。

国際平和の拠点性を高めるために力を入れていくべきこと(生活圏, 性, 年代別)

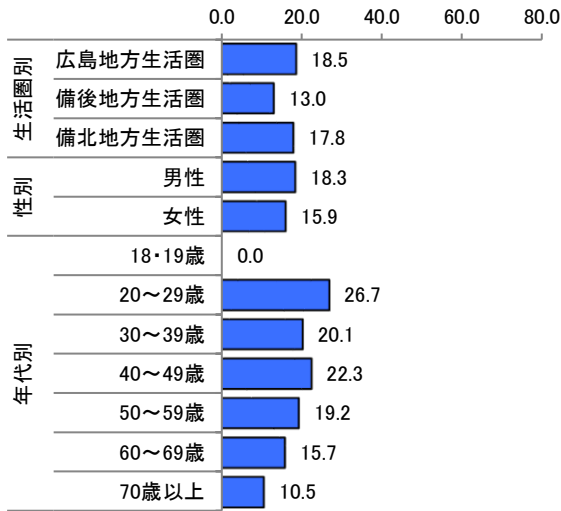


(単位: %)



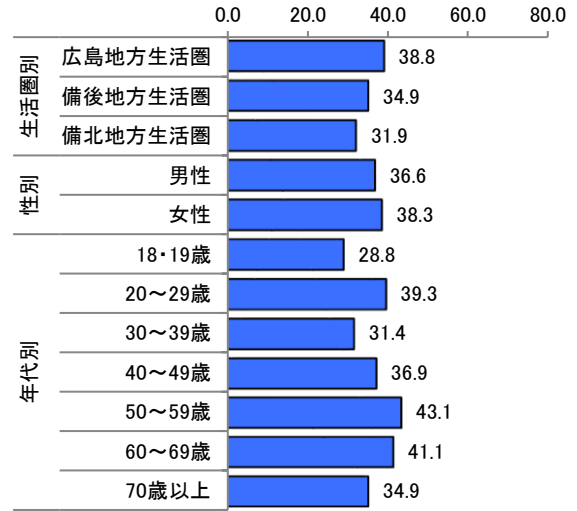
(単位: %)

ビジネスを通じた平和貢献



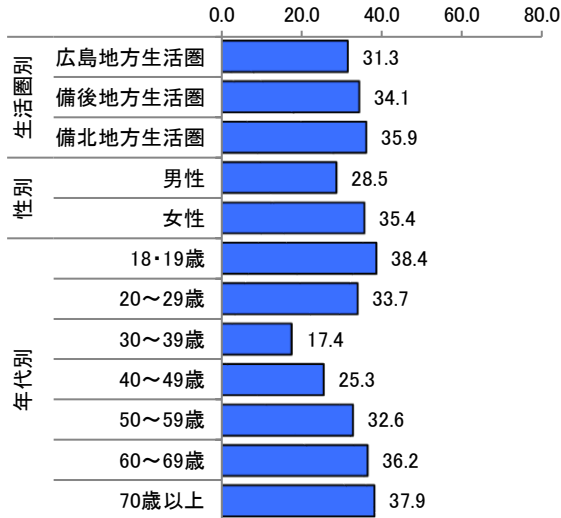
(単位: %)

政治指導者の広島訪問などを通じた平和メッセージの発信



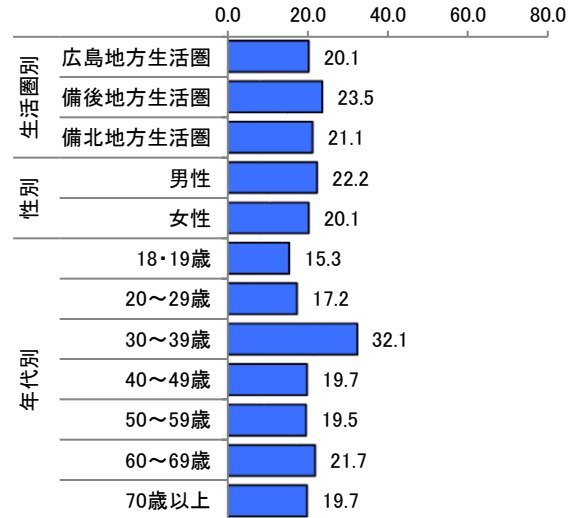
(単位: %)

核兵器廃絶に取り組む国際NGOなどのネットワーク化



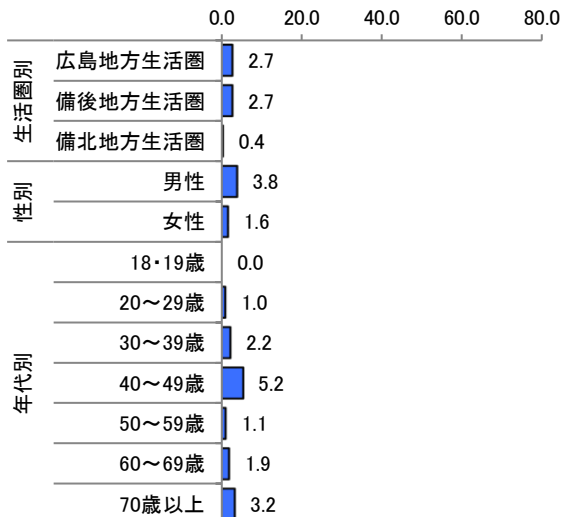
(単位: %)

わからない



(単位: %)

その他



(単位: %)